書道を誤らせる書道奨励会

北大路魯山人

青空文庫

書道展覧会など殆ど全部がといって差支えない今の書家風の書、すなわち手先の器用で作り上げる「書」形態は、筆調は体裁上、一寸見に本当の能書と変るところなきものかに見える。が……実は能書のイミテーションだ。今少し手厳しくいえば能書の偽造だ。贋造紙幣製作と同義を持つものだ。例えば真の能書たらんには東に向うべきが当然であるべきを、西方に向って筆心を進めている、これが書家の書だ。最初からてんで見当が違っている。天の星を買おうとする愚者に似たものだ。手先の器用で造られる字はこれなのだ。近頃書道の勃興とともに上野あたりで催される書道奨励会などは、目的としてその偽造能書を作らんとする考えでないこと固よりいうまでもないが、書の生命に心得ある者のないため？偽造能書を生み出すべくこれっとめている観ある事を如何ともなし難い。受賞者はやがて成功の暁、デパートに調法な筆持ちとして雇用される以上の何者でもない。それが不足でないというならば万事休するまでではあるが、さに非ざる夢がありとすれば、実に気の毒千万な訳である。

一六、鳴鶴はもちろんのこと、三洲、梧竹、いずれも書道の根本を弁えそこなった結果、方向を誤って、書は手先の能くする所と合点し、書道に筆ばかりを揺り減らしたものだ。その結果として徒らに反古の山を作った。それらの歿後、その墨蹟が何の価値なきのみならず、あさましい醜体を縁日の店頭にゼロを以て曝すに至っては、将に後進をして否応なしに悟らしめるものがある次第である。以上、書家輩の誤った習字学を挙げて前車の覆りたる光景に譬えた

りとて、誰か識者のあって異議挟む者があろう。風采、容貌のみの仕掛けをととのえて、児女の目を眩ますものは芝居である。辺幅を飾るに腐心常なき者は、人格的内容のないやくざ者と、昔から相場は決っている。

今、書道会に書を競う者、見るところ皆辺幅者流に非ざるはない。かくて、デパートに調法な筆持ちと成り了る。嗟呼。しかしながら、かように、書道を皆が皆誤認する所以のものは、畢竟、偉大な墨蹟に表われたる能書の価値を直観する観賞力を欠くがためにして、知らざるがゆえにこのような振舞をあえてするものと見る外はないのである。

元来、書道を極めんとする嗜みは、人格の完成を期せんと希望する念願と、なんら変わるところあってはならないのである。

書と人格は不可分であることを知らねばならぬ。ゆえに書を学ぶ一事は、直ちに自己の人格を達成するに役立つものであらねばならないはずである。書の善悪美醜は作者の人格の反映であって、技術上の巧拙に表われる美醜は、単に衣裳の好し悪しに過ぎないと知らねばならぬ。由来、書家の書は、衣裳調整の努力にのみ腐心するものであって、肝腎衣裳を着ける中身（人格）を等閑している。等閑しないまでも、それは及びもつかぬこと、あるいは別事でもあるかの如く関心から遠ざかっているのが現状だ。かくて、運筆の練磨のみを事となし、空虚な望みを懸けて書の達成を期せんとする観あるは、なんたることだと糺弾したい。

書家という厄介な存在は、更にさらに碌でもない所業をあえてする。それは赤子の手を捻る

事だ。猿使いが猿でも仕立てるように、いたいけな児童を捉えて大人に見る俗風を仕込み、それを手柄とする。この一事の如きは、真に革めざるべからざることである。子供は子供らしい素直な良い字を書いてこそ、子供としての善書たり得るのである。それを大人にも能わざるうまさなど神童扱いに、おだて上げ、猿芝居、犬芝居を作り上げて、お祭り騒ぎする師匠の愚劣は、地方廻りの見世物師とその心情を異にするものでない。

書道は実に関心次第で、人格の達成に重大な一役を買って出てくれるものだ。また人格は書道の達成を助くる唯一の益友だ。この益友と益友は永久に同行し、同伴し、ついに心中するを約束とする。心中するのみか、未来永劫離るべくもなく暗地を照らして後進の行く手を導くものだ。かく明々白々たる書道概念すら把握する者なき今日の書道は、これが釈然革まらざる限り、如何せん真個の書道は復興すべくもないのである。復興どころか、かえって、際物師の好餌と成って徒労に終るのみだ。近時、書道の隆盛にあずかって、事に従う者以て如何となす。

（昭和十年）

青空文庫情報

底本：「魯山人書論」中公文庫、中央公論新社
　1996（平成8）年9月18日初版発行
　2007（平成19）年9月25日3刷発行
底本の親本：「魯山人書論」五月書房
　1980（昭和55）年5月
入力：門田裕志
校正：木下聡
2020年3月28日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

書道を誤らせる書道奨励会

北大路魯山人

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/